

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

「COVID-19 (SARS-CoV-2 感染症) の 29 日死亡に影響する臨床、採血上の因子：肥満の逆説 (Obesity paradox) の検証」

研究期間：2020 年 3 月～2022 年 12 月

対象材料：

- 病理材料 (対象臓器名：)
 生検材料 (対象臓器名)
 血液材料
 遊離細胞
■ その他 (電子カルテ上の診療データ)

上記材料の採取期間：2020 年 12 月～2023 年 3 月

意義：

一般診療では Body Mass Index (BMI) が高い肥満は、疾病に悪影響を及ぼすとされる。しかし海外の集中治療領域では、BMI が低くても致死率が高い結果が得られ、「肥満の逆説」とされる。さらに COVID-19 例の致死率も、グラフでは縦軸に致死率を、横軸に BMI をおく図で羸瘦と肥満で致死率が高い U 字を示す報告がある。

当院の COVID-19 (約 1100 例) における中間解析で、同様の図で右肩下がりである。そこで日本のリアルワールド (現場臨床) データを示して、COVID-19 の日常臨床で死亡を予測する参考となりうる。

目的：

COVID-19 診療にあたり、即座に得られる BMI (体格指数) によりリスクを評価し、エビデンスに基づいた COVID-19 診療を行うため。

方法：

対象は、2020 年 3 月—2020 年 12 月、SARS-CoV-2 (COVID-19 ウイルス) 陽性となり当院に入院となった全例である。

方法は、電子カルテ検索ツールにより採集しうる全てのデータを集めるが、統計学上、多数の背景因子が全て揃わないと欠損データとして脱落するので、結果的に対象となった母集団を示す。29 日全死亡に対して独立して影響する因子を探る。

個人情報の取り扱い：

文部科学省の指針に基づき、インターネット上の広報により同意を得る。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒750-8520

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 副院長 吉田 順一

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838